

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 住友金属鉱山株式会社（証券コード:5713）

### 【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+
（発行限度額変更：1,000億円 → 1,500億円）	

### ■格付事由

- 資源開発から製錬、機能性材料の生産まで一貫して手掛ける。3事業を連携させることで原材料の安定調達や効率的な製品開発などの優位性を発揮している。鉱山開発における経験やノウハウが蓄積されており、銅や金にかかる多数の優良な資源権益を有する。ニッケルでは低品位鉱から原料を回収するHPAL技術に強みを持つ。材料事業は自動車向けの電池材料のほか、電子部品関連業界向けなどに結晶材料や粉体材料も取り扱っている。
- 当面の業績は堅調に推移すると考えられる。各事業における強固な事業基盤や3事業連携による相乗効果が引き続き業績を下支えするとみられる。また、銅などの非鉄金属市況が高水準にあり、資源事業の利益を押し上げると想定される。加えて、シエラゴルド銅鉱山の操業改善によって生産量が増加しており、業績の下振れリスクが緩和される方向にある。財務内容は良好であり、中期的に投資負担が高まる場面でも財務の健全性が損なわれる懸念は小さい。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 22/3期税引前利益は1,380億円（前期比11.9%増）と2期連続で増益の計画である。製錬事業における在庫評価損益の悪化はあるものの、銅価格が前期を上回る水準で推移することによる資源事業の業績伸長が上回る見通しである。中期的に非鉄金属市況が下落する局面でも利益の底堅さは維持されるとJCRはみている。製錬所や鉱山は今後もおおむね安定した操業が見込まれ、業績を支えると考えられる。また、材料事業は自動車向け需要の回復や旺盛なエレクトロニクス関連需要を背景に当面の業績は好調とみられる。
- 21/3期末の親会社所有者帰属持分比率は59.1%と前年並みの水準となった。今後は大型プロジェクトの推進にかかる投資が本格化し、有利子負債が増加すると想定される。一方、利益蓄積も進むとみられ、財務内容が大きく悪化する可能性は低い。また、今回のCP発行限度額の変更は資金調達能力の拡充を目的としたものである。CP発行限度額の変更に対し、手元流動性は十分に確保されている。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

### ■格付対象

発行体：住友金属鉱山株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年8月31日	2021年8月31日	1.257%	AA-
第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2018年9月18日	2021年9月17日	0.020%	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第31回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月13日	2024年12月13日	0.100%	AA-
第32回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月13日	2029年12月13日	0.250%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2019年8月29日から2年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,500億円	J-1+

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年5月31日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：水川 雅義
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「非鉄金属」（2011年7月13日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 住友金属鉱山株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

#### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

#### ■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

#### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル